

週刊新潮10/5号9月28日発行の

「プロフェッショナルドクターによる難症例の眼科手術第6回」に
当院の院長浅見 哲先生が取り上げられました。 10/5号（2023年9月28日発売）

昭和31年2月20日第三種郵便物認可 令和5年10月15日発行(木曜日発行)C9月28日発売①第68巻第37号

週刊新潮

10月5日号
460円

読者アンケート
実施中!



37

プロフェッショナルドクターによる難症例の眼科手術

浅見眼科手術クリニック

愛知県・名古屋・大府 JR「共和」駅徒歩1分

2021年の夏に開院した専門クリニックに聞く、今回は、簡単なはずの白内障手術で起こり得る大きなトラブルについて、年間約1300件もの眼科手術を執刀する浅見哲院長にお話をうかがった。



院長
浅見 哲
Tetsu Asami

名古屋大学医学部附属病院の医局長や県内有数の眼科専門病院の副院長などを歴任し、無数の手術を手がけてきた浅見院長。昨年1年間で約1300件もの手術を自ら執刀しているが、緑内障や網膜剥離など難易度もリスクも高い患者を受けられる姿勢に、地域の医療機関から大きな信頼が集まっている。

症例 06

岐阜県岐阜市在住
Y・Oさん(70代・女性)

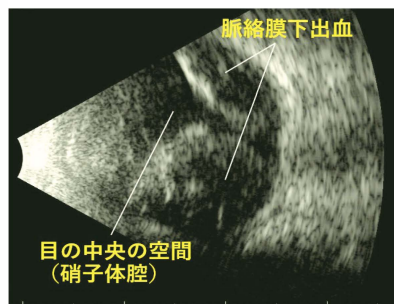


患者は78歳の女性。2021年の秋に白内障手術を受けたが、手術中に眼球の脈絡膜と呼ばれる組織から激しい出血を起こしたため、直ちに中止。眼内に血液が溜まった状態で専門的な処置が必要となったため、速やかに浅見眼科手術クリニックを紹介。経験豊富な浅見院長が後を引き継いだ。

白内障手術で起こった 眼内の大出血

外科的手術の中で最も身近な白内障手術。特に大きな痛みもなく、当日は日帰りでもさらにはアフターケアも短期間で済む簡単な手術だが、時にはとんでもない事態を引き起こすこともある。

今回の事例は、白内障手術の際に起きた合併症により一転して難症例となったものだ。患者は、チン小帯という水晶体を固定する線維組織が高齢で弱っていたため手術中に切れて、白内障のかけらが水晶体を包む袋である水晶体嚢ごと、眼の奥の硝子体の



初診時の眼球のエコー写真。脈絡膜下に溜まった出血で眼球の中がほまほますべて満たされている。

3つの合併症とは

溜まった出血の除去が必要というところで、まず硝子体手術で眼内の出血を除去。シリコンオイルを詰めて出血を止める措置を取ってから2週間ほど空け、

空間に落下してしまう。そこで眼内レンズの挿入をひとまず保留し、落下した白内障を取り除く硝子体手術へと切り替えたのだが、手術器具を目の奥に挿入した際、痛みのために患者が身体を強ばらせ目に力が入った。この時、3層ある眼球壁のうち中間に当たる脈絡膜の血管が切れて、眼内で大出血を起こしてしまったのだ。

浅見眼科手術クリニックに来院した時には、原因となった脈絡膜下出血のほか、眼球の中央部の硝子体にも出血が溜まっていた。浅見院長の見立てでは、脈絡膜に多く集まる血管の中に弱くなっていたものがあつたようだ。眼内の出血以外にも白内障手術の傷口に虹彩がはまり込んで瞳孔も開きつ放しの状態だった。

浅見眼科手術クリニック

<https://asamiganka.com/>



スマートフォンをご利用の方は
こちらよりアクセス

診療時間・休診日についてはHPでご確認ください

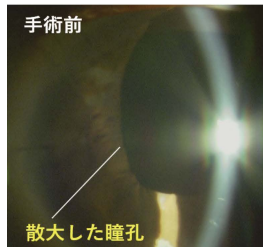
所在地 ◆ 愛知県大府市東新町2-165
電話 ◆ 0562-46-7700

固まった血液が溶ける頃を見計らって再手術。強膜に穴を開け脈絡膜下の出血を丁寧に取り除いたのち、さらに眼内の安定を待つて1か月半後に眼内レンズを入れる再手術へ。水晶体嚢が脱落していたため、眼球壁の最外層である強膜にレンズの支持部を埋め込む特殊な方法で眼内レンズを固定。さらに、散大している瞳孔を元に戻すため、虹彩を縫って縮める修復手術を行う。初診から2か月半ほどの治療を終えると、視力は0.6まで回復。患者は元のクリニックへと戻り、現在は良好な視界を取り戻しているという。



虹彩縫縮後

巾着袋の様に縫い縮めた瞳孔



手術前

散大した瞳孔

手術前は瞳孔が開いた状態であったが、瞳孔縁を巾着袋のように縫合したところ、正常な瞳孔の大きさになり眩しさが軽減した。

とあるので穏やかではない。「今回はもともと高血圧を抱えた患者さんで、手術中にいろいろな要因が重なって起こったことですが、意外に大きなウェイトを占めていると思われるのが、痛みの我慢です。少々痛みの訴えを訴えるのは恥ずかしい、申し訳ないという意識は誰にもあると思います。手術中に身体が強ばり、瞬間的に眼に力が入ってしまったと思わぬことが起きやすいのです。眼科医はできるだけ痛みのサインを見落とさないよう注意していますが、それでも察知できないこともあり、そのまますまお伝えいただければと思います(浅見院長)